

第1回 実践交流会

多様性が活きる日本語教育実践 ～教育者・支援者の経験に学ぶ～

研修の一環として、日本語教育・支援に関わっている教員・支援員・支援者の皆さんが、相互に実践を語り合い・学び合う場を設けます。子どもたちも多様であれば、教育・支援の現場も多様です。第1回では、前半、四国地域で子どもの日本語教育・支援に携わる皆さんに、四国における子どもの日本語教育の状況や実践・取組についてご報告いただきます。九州会場の参加者の皆さんとの交流を通じて、相互の教育者・支援者としての経験から、地域による違いを超えて、子どもたちの日本語学習環境を創造するための手がかりを学び合います。

後半の実践交流会では、参加される皆さんにご自身の実践について語り合ってください。授業のプランや教材、子どもの成果物など、実践の実際がわかる資料をもとに、教育活動・支援活動の創意工夫を紹介いただきます。実践のデザインとその意図、その活動での子どもが学びに向かう姿について話し合う中で、互いの子ども観・学習観・言語観に触れることができるでしょう。その交差から生じる創発から、きっと次なる実践展開のアイデアが得られます。なお、前半の四国からの報告については、オンラインでの参加も歓迎しハイフレックス開催とします。後半の実践交流は対面会場のみで実施します。ぜひご参加ください。

日 時： 8月30日(日) 10:00～ 12:30

実施形態： ハイフレックス

オンライン(10:00～11:05)： Web会議システムZOOM

対面 (10:00～12:30)： 九州大学大橋キャンパス5号館1階(512教室)

定 員： 対面 30人 オンライン 30人程度

対 象： 子どもの日本語教育に教育者・支援者として関わっている方・関心をお持ちの方

★対面参加については、ご自身の実践について資料を持参し、報告できる方

参加費：無料

参加申し込みについて

申込期間：8月1日(土)～8月23日(日)

グーグルフォームよりお申込みください

こちら→<https://forms.gle/BmmFyaw5FGTePat99>



プログラム

10:05 開会

10:05 子どもの日本語教育・支援活動に関する経験者(ゲスト)からの報告

①「高知県における子どもの日本語教育の現状と取り組み」

折田正子さん(高知市教育研究所)・和田美砂子さん(香美市立小学校)

②「みんなで勉強、ときどき遊び」愛媛県より

嶋村美和さん・宮田あゆみさん(にほんご町内会)

<以下は、対面参加者のみの活動>

11:15 実践に関する参加者同士の交流

3名程度のグループに分かれ、それぞれ、ご自身の実践を紹介(紹介10分程度+話し合い5分程度)

12:25 まとめ・閉会



お問い合わせ

東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構 外国人児童生徒教育推進ユニット
担 当： 齋藤ひろみ・工藤聖子・稲田直子 knihongou@u-gakugei.ac.jp